

1年生 ルーブリック 自己評価・ふり返り

組 番 名 前:

章の目標	観点	4	3	2	1	0
1章 身近な大地 身近な地形などの観察を通して、大地の成り立ちなどを理解する。観察器具の基本的な扱いなどを身につける。	知識 技能	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、身近な地形や地層、岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。			身近な地形や地層、岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	
	自己評価					
	思考 判断 表現	身近な地形や地層、岩石の観察について、問題を見いだし見直しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。			身近な地形や地層、岩石の観察について観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究しようとしている。	
	主体的に 学習に 取り組む 態度	身近な地形や地層、岩石の観察に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			身近な地形や地層、岩石の観察に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。	
	自己評価					
2章 ゆれる大地 地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解させ、記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いだす。また、地震の原因などをプレートと関連づけて理解する。	知識 技能	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地震の伝わり方と地球内部のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。			地震の伝わり方と地球内部のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	
	自己評価					
	思考 判断 表現	地震について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、地震のゆれの大きさや伝わり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。			地震について観察、実験などを行い、地震のゆれの大きさや伝わり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究しようとしている。	
	主体的に 学習に 取り組む 態度	地震に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			地震に関する事物・現象に進んで関わり、ふり返るなど、科学的に探究しようとしている。	
	自己評価					
3章 火をふく大地 さまざまな火山の活動などを調べさせ、それらのようすはマグマの性質が深く関係していることを考察させるとともに、マグマからできる火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解する。	知識 技能	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動や火成岩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。			火山活動や火成岩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	
	自己評価					
	思考 判断 表現	火山について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。			火山について観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究しようとしている。	
	主体的に 学習に 取り組む 態度	火山に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			火山に関する事物・現象に進んで関わり、ふり返るなど、科学的に探究しようとしている。	
	自己評価					
4章 語る大地 地層の重なり方や広がり方の規則性を捉え、構成する岩石や化石をもとに、地層が堆積した時代や当時の環境を推測させることを通して、地層のつき方を理解する。また、プレートと火山活動や地震などとの関連を総合的に捉え、大地からの恵みや災害について理解する。	知識 技能	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層の重なりと過去のようす、自然の恵みと火山災害・地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。			地層の重なりと過去のようす、自然の恵みと火山災害・地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	
	自己評価					
	思考 判断 表現	地層の重なりと過去のようす、自然の恵みと火山災害・地震災害について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、火山活動や地震発生のおきなどの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。			地層の重なりと過去のようす、自然の恵みと火山災害・地震災害について観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、火山活動や地震発生のおきなどの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究しようとしている。	
	主体的に 学習に 取り組む 態度	地層の重なりと過去のようす、自然の恵みと火山災害・地震災害に関する事物・現象に進んで関わり、見直しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			地層の重なりと過去のようす、自然の恵みと火山災害・地震災害に関する事物・現象に進んで関わり、ふり返るなど、科学的に探究しようとしている。	
	自己評価					

ふり返り

1. できるようになったこと・継続したいと思うこと
2. 自分の中の課題・足りないところ
3. 今後、取り組むべきこと(1・2を受けて)